

家庭学習の手引き（５年生）

◎家庭で学習する習慣をつけよう⇒時間を決めて取り組もう

４年生までの積み重ねで、「宿題はするものだ」という習慣が身につけてきているはずです。５年生では、自分で見通しを持った計画を立て、自らすすんで家庭で学習する習慣をつけていきましょう。

習い事などで、毎日決まった時間に学習することはむずかしいことですが、「学校から帰って来たらすぐにする。」「ご飯を食べてからする。」など、その日の予定に合わせて、自分で時間を決めて行えるようにしていきましょう。

◎学習環境を整えて取り組もう

４年生までの学習の様子で、「テレビを見ながらしている。」「散らかった机の上でしている。」など学習環境が整っていないことがわかってきました。だらだらと時間だけを過ごすのではなく、集中して取り組むために「テレビは消してからする。」「机の上を片づけてからする。」など学習環境を整えて行えるようにしていきましょう。

◎自主学習に取り組もう

５年生では、４年生までに身につけた学習習慣・生活習慣をさらに高めていきます。あたえられた「宿題」だけでなく、自分の課題に合った学習を見つけ「自主学習」にも取り組みましょう。

◎「１０分×学年数＋１０分」の「６０分以上」が家庭学習の目安です。

※あくまで宿題は家庭学習の一部です。

これまでに「だらだらしたら、ちょうど目標時間になる」と、時間が過ぎればよしと取り間違えている人がいたこともありました。大切なのは時間の長さではなく、集中して取り組むことです。量と質のどちらも意識したうえで、集中して取り組める時間を増やしていきましょう。

１．家庭学習の前にすること

- （１）学校でもらってきたプリント類をおうちの人に必ず見せる。
- （２）テレビを消す・机の上のものを整頓する・ゲームやスマートフォンなどを持っている人は宿題の間だけでもおうちの人に返す。集中力を奪われるものをなくし、自分で集中できる環境をつくる。

２．家庭学習に取り組む

宿題

- （１）国語（漢字など）の学習… ていねいに、正かくに、覚える意識を持って書きましょう。
- （２）算数（計算など）の学習… ていねいに、正かくに、わからないところをたしかめて計算しましょう。

《その他》 音読、日記、教科書を読むなど

自主学習

家庭学習を宿題だけで終わるのではなく、「自主学習」に取り組みます。各教科の予習をして授業理解に活きたり、復習をして学習内容を定着させたりすると良いです。

【例】視写、読書、日記、感想文、意見文、社会や理科の調べ学習、意味調べ、縄跳び、など

３．家庭学習が終わってからすること

明日の予定を合わせる、持ち物を準備するなど、自分で忘れ物をしないための工夫をしながら、きっちり次の日に備えた確認をしましょう。